



新春さわやかトーク

スポーツの力で未来を育てる

谷本歩実さん ◆ 多田区長

(アテネ五輪・北京五輪 柔道金メダリスト)

日本中が感動！ 柔道史上初の
五輪2大会連続オール一本勝ち



■光り輝く2つの金メダル (右がアテネ五輪、左が北京五輪)

区長 あけましておめでとうございます。

谷本 おめでとうございます。

区長 今日はどうぞよろしくお願いいたします。今、北京五輪の決勝のシーンを見させていただきましたが、「すばらしい」の一言ですね。改めてあのときの感動がよみがえってきました。当時、谷本さんは江戸川区民でいらして、その間にアテネ五輪と北京五輪の2大会で金メダルを取られたわけですが、私たち区民も本当に燃えましたね。

谷本 ありがとうございます。

区長 優勝を決めた「内股」は、本当に見事でした。優勝した瞬間というのはどんな気持ちだったのですか？

谷本 いろいろな方に聞かれるのですが、実は優勝した瞬間から頭の中が真っ白だったんです。後でVTRを見て、あまりの喜び方に私自身がいっばいびっくりしました。

区長 見ている私たちも声を出して喜びましたよ。しかも、全試合一本勝ちでしたね。2大会連続で金メダルをお取りになった方は何人かいらっしゃると思いますが、すべてが一本勝ちというのは谷本さんただ一人ですよ。

谷本 はい、そうです。

区長 まさに前人未到ですね。私たち区民も谷本選手に期待し、何とか金メダルを取っていただきたいと思っていました。それを見事に2大会連続で達成してくれたわけですね。このような選手が江戸川区にいてくださることを誇りに思いましたよ。

谷本 ありがとうございます。江戸川区からパワーをもらいました(笑)。

「一本柔道」を貫く姿が 感動を与え 記憶に残り続ける

江戸川区長 多田正見



区民に金メダルを報告！

区民と感動を共感

区長 アテネ、北京の大会がそれぞれ終わってから、区役所に金メダル獲得の報告に来てくださいました。北京五輪のときは、メダルを私も掛けさせていただきましたが、うれしかったですね。

谷本 そのときは、よく覚えていません。

区長 その後、区役所前や総合文化センター前で、お祝いの催しをさせていただきました。近隣の小学生など、大勢のみなさんにメダルを見せてくださいました。もう、リボンが切れて、やうんじやないかって心配しました。

谷本 そうですね、大歓迎していただきましたね。みんなキラキラした目をしていました。「金メダル、触ってもいいですか？」って震えながら触ってくれる子もいたんです。あのときは、子どもたち一人ひとりに、見て、触ってもらい、「僕も、私も取れるんじゃないか」っていう気持ちを持ってほしいと強く思っていました。

区長 そして、谷本さんから子どもたちに向けて、「みなさんも頑張ってくださいね。」



(右下からつづく)

そこそこ食べて、そこそこ体が立派な女の子には、「君は柔道向きだね」なんて声を掛けたりしますよね。笑。私もそういう子どもだったの、そのまます柔道を始めました。

区長 妹の育実さんも柔道をなさっていますよね。そういえば、昨年11月に行われた「講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」で、お姉さんと同じ63kg級でチャンピオンになられましたね。

谷本 はい、そうですね。

区長 すばらしいですね。これからますます期待が膨らみますね。その後、谷本さんは、部活動などで柔道を続けられたのですか？

谷本 はい、中学時代は家の近くの道場に通い、高校では柔道部に入りました。

区長 最初に世界の舞台に立ったのは学生時代ですか？

谷本 はい、高校生のときに初めて国際大会に出て、大学2年生のときに初めて日本代表になりました。それから10年間、ずっと日本代表に選んでいただきました。

「一本柔道」を貫く

揺るがない志と柔道への思い

区長 高校卒業後は、どうされたのですか？

谷本 「柔道の父」と呼ばれる嘉納治五郎先生(下欄参照)がいらした、筑波大学に進学しました。

区長 そうですか。最近、嘉納先生のテレビ番組を見たのですが、あの方は大変な教育者であり、また、幻に終わった昭和15年の東京オリンピック招致の中心的存在となつて、大変な情熱を傾けてくださいました。日本柔道の「祖」であることはもちろんですが、スポーツを通じて平和を考えたり、青少年の健全育成を考えたり、日本の柔道界、教育界の歴史に大きな功績を残された方ですね。

谷本 そうですね。私は20歳の頃、嘉納先生の理想とする、柔道を通しての人間教育・人間形成というものを、自分のスタイルであった「一本柔道」で受け継いでいきたいと思っていました。私が考える「一本柔道」とは、「相手としっかりと組んで技をかけ合い、正々堂々と勝負をする」ことですね。しかし、それを貫くには相当の覚悟やきつとした指導が必要で、できません。当時、一本で投げられる力を持った選手はほかにもいましたが、「私が嘉納

ださいね」「目標を持って、しっかりと挑戦してください」と、声を掛けていただきました。

谷本 直接、子どもたちと話すことができ、楽しかったです。

区長 区民のみなさんは心の底から谷本選手を称えていました。そして、その気持ちの一つの表れとして、「江戸川区スポーツ特別栄誉賞」(下欄参照)を平成16年と20年に受け取っていただきました。まさに、江戸川区の歴史に残る快挙です。

谷本 大変光栄なことですね。

区民からもらった

大きな力と下町の人情

区長 江戸川区には、いつからお住まいだったのですか？

谷本 平成16年です。アテネ五輪の最終選考会直前です。西葛西にある、会社の柔道部の寮に住んでいました。実は、江戸川区に来る前は、勝ったり負けたりで思うように結果が出ず、アテネに行くかどうかも不安でした。しかし、江戸川区に来てからは、とても良い環境の中でトレーニングができ、結果もついてきたのです。

区長 それはうれしいですね。練習場所はどこだったのですか？

谷本 道場は江東区でしたが、朝6時から葛

西臨海公園の近くを走っていました。あの辺りは大勢の方がランニングをしていて、私に気づいて声を掛けてくれるのです。時には、区民の方と追い越し、追い越されをしながら走りましたが、最後は私を抜いて行くんです。私はバリアリの現役だったのに(笑)。

区長 そうですか、大勢の方と競い合いながら走っていたんですね。

谷本 ほかにも、朝、駅に向かって歩いていると、「おはよう、今日も練習？ 頑張ってくださいね」と声を掛けてくれるのです。そういった地域の方々の励みや応援をいただき、アテネ五輪では金メダルを持って帰ることができました。そして「おめでとう」とともに、「また頑張ってください」という言葉をたくさんいただきました。この言葉で、北京五輪に挑む気持ちになったのです。

区長 そのような温かい言葉があったのですね。そういった西葛西の住み心地はいかがでしたか？

谷本 お店や公園などがたくさんあり、本当に住みやすいところでしたね。

区長 レストランなどの飲食店は、相当詳しいのでしょうか？

谷本 はい、詳しいです。いろいろなお店に行きました。オリンピック前に行ったときでしたが、「これも食べていい？」と、注文をしていない料理がたくさん出てくるんですよ(笑)。中には「谷本さんは無料にしますよ」というお店もありましたし、金メダルを取って帰ってきたら、「谷本歩実選手 金メダルおめでとう！」という貼り紙を出してくれたお店もありました。うれしかったですね。

区長 それは心温まるエピソードですね。まちのみなさんが応援してくれていたのですか？

谷本 ほかにも、私が居酒屋で一言「けがをした」と言っただけで「谷本歩実がけがをした！」という話題が地域にパッと広まったのです。そして、みなさんが協力して接骨院に問い合わせてくださいたり、早く治してあげようとしてくださった



区長 すばらしいお話です。日本国民は、たとえ自分がやっていないでも柔道に対するイメージは持っているはず。みなさんが感動したのは、一つはもちろん金メダルを取ったことですが、もう一つは、一本にこだわってそれを達成されたことだと思うのです。国民の心を動かし、柔道が本来持っている美学というものを改めて教えてくれました。

谷本 これから、武道が中学校の必修科目になるということですので、ぜひ、柔道の持つ理念というものを伝えていきたいと思っています。

区長 武道の基本は、「礼に始まり礼に終わる」があり、相手を敬うという日本の思想でもあります。スポーツにはそういった神髄がなくはないですね。ルールを守るのは当然ですが、このような「礼節」がしっかりとしていなければ、スポーツが本来持つ精神は達成されないと思います。そうしたことから文部科学省も、武道を中学校の必修科目として取り入れていくことになりました。

谷本 江戸川区ではいつから実施するのですか？

区長 24年度からです。これから全国的にそういった教育が始まります。谷本さんにも、またそこで一役買っていたことに



谷本 歩実さん

1981年、愛知県安城市生まれ。筑波大学を経てコマツ女子柔道部に所属。平成16年アテネ五輪および20年北京五輪で金メダルを獲得。柔道史上初の2大会連続オール一本勝ちの偉業を成し遂げる。22年9月、現役引退を表明。その後は同柔道部のコーチとなり、後進の指導にあたる。16年から6年間、江戸川区に在住。

金メダリストからもらった

心温まる手紙

区長 谷本さんは、昨年9月に現役引退を表明されました。その際に、私に一通のハガキを送ってくださいました。本日はそれを持っています。

谷本 えい、びっくりです！

区長 このハガキ、実はドキドキするくらいうれしかったんです。金メダリストから手紙をいただくなんて考えてもいませんでしたからね。印字された文字の下に、「ご自身の字で、いつも優しい笑顔で迎えていただきありがとうございます」という言葉が書かれていたのを、本当にうれしく思います。次世代の五輪金メダリストが、この江戸川区からたくさん出ることを期待し、応援しています。

谷本 ありがとうございます。



(4面へつづく)

「夢」を持つことで自分が支えられ 人として成長できる



嘉納治五郎⇒1860年～1938年。東京帝国大学(現東京大学)を卒業後、講道館柔道を創設。その後、東京高等師範学校(現筑波大学)の校長を務め、教育改革を行いつつ、日本の学校教育の充実、体育・スポーツの発展などに貢献しました。

江戸川区スポーツ特別栄誉賞⇒国際大会において、特に優秀な成績を収めた区民などに対し、区民の誇りとしてその功績を称え顕彰するものです。この賞は谷本歩実さんのほか、プロ野球選手の松坂大輔さんも受賞しています。



■北京五輪決勝、勝利の瞬間
(写真提供：共同通信社)

